


一般質問通告書一覧（9月25日）


質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める理事者
 <p>(30番) 宮本 次郎 (日本共産党) 【一括質問】</p>	<p>1 平群の小菊ブランド支援について</p> <p>平群の小菊のさらなるブランド確立に向けて、気象変動に影響されない生産技術の確立や、経営に意欲が持てるような支援について、さらなる取組が必要と考えるがどうか。</p> <p>2 西和医療センターの今後について</p> <p>県立病院機構の第2期中期目標・中期計画が策定される予定だが、その中で、西和医療センターはどのように位置づけられるのか。</p> <p>3 高校削減・再編成について</p> <p>(1) 知事は6月28日の定例記者会見で「校名を出すタイミングが遅かったのではないかと検証してみたいと思う」と話していたが、これは知事が教育委員会の説明不足を感じての発言と受け止めた。その後どのように検証されたのか。また、知事は9月12日の記者会見で「教育委員会が説明を尽くすべき」と話されたが、このことの意味について伺いたい。</p> <p>(2) 学校で行った説明会は6月17日のわずか1回のみであり、6月議会で計画が議決された後は、関係校の生徒・保護者に1枚のプリントで済ませる。また、市町村教育長に対しては、8月末にようやく説明されたが「なぜもっと早く説明しないのか」との声が出た。これで説明責任を果たしたといえるのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>教 育 長</p>


質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(30番) 宮本 次郎 (日本共産党)</p>	<p>(3) 議会請願の締め切りだった6月15日の朝、請願者である平城高校PTA会長宅に教育長が公用車で訪問する、また、平城高校内では、教師が生徒に対し反対運動に参加しないよう呼びかけるなど、請願権や意見表明権に対する侵害と考えるがどうか。</p>	<p>教 育 長</p>
	<p>(4) 平城高校は、平成29年度学校評価総括で、学習指導、生徒指導など全部で10ある分野のうち、9つの分野でA判定、総合評価もA判定であり、総合でA判定は33校中5校しかないのに、なぜ閉校するのか。</p>	<p>教 育 長</p>
	<p>(5) 6月議会では、平城高校関係者の思いを受け止め、平城高校地にはメモリアルを残すとされたが、それならば条例化にあたり、平城高校関係者の心情に配慮して、平城高校地に移転する奈良高校の名称を一部変更することなどを検討するべきと考えるがどうか。</p>	<p>教 育 長</p>
	<p>(6) 豊かな高校教育をどのように県立高校で保障していくのか、県民的議論と合意のもとで築き上げるための体制をつくるべきと考えるが、教育長の所見を伺いたい。</p>	<p>教 育 長</p>
	<p>4 県立高校総合寄宿舎の改善について</p> <p>女子寮「かぐやま寮」に隣接するところには、男子寮「畝傍寮」の建て替えができる土地の確保までできており、建て替えの計画を立てるのか、それが直ちにできない場合は、現在の老朽化に対し早急に改修を行う必要があると考えるがどうか。</p> <p>5 県立高校の耐震化について</p> <p>生徒等の安全性の確保、更にはその不安の解消のためには、県立高校の耐震化を順次進めるとともに、耐震化が完了する2022年度までの間、緊急的な安全対策を早急に講じるべきと考えるがどうか。</p>	<p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(33番) 国中 憲治 (自由民主党) 【一括質問】</p>	<p>1 障害者就労の推進について</p> <p>(1) 障害者法定雇用率達成は、「法令遵守」であり、経営の本質課題だが、50人以上雇用の県内企業のうち、約4割の企業は障害者法定雇用率が未達成である。 今後、奈良県として、未達成企業とりわけ企業トップにどのような働きかけを行っていくのか。</p> <p>(2) 障害者の就労を通して、いかに障害のある人が当たり前活躍できる社会の実現を目指していくのか、知事の障害者雇用に関わる本質的な見解と今後の決意、意気込みを伺いたい。</p> <p>2 精神障害者、医療、福祉対策について</p> <p>(1) これから社会情勢が益々複雑多様化し、精神疾患患者が多くなることが予想される。これからの社会情勢に鑑み、保健所の相談員の充実と、市町村行政と連携しながら家庭訪問による相談支援体制の充実が必要と思うが所見を伺いたい。</p> <p>(2) 公共施設、公共交通機関の利用割引制度確立について</p> <p>3 災害時の避難所での障害者・高齢者対策について</p> <p>(1) 県内の避難所におけるバリアフリー化をはじめ、障害者・高齢者が一時的にしる、過ごしやすい設備、備蓄物の状況をどのように把握されているのか。 また、県民の命を守る視点から市町村への財政支援が必要と考えるが、知事の考えを伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>福祉医療部長</p> <p>【 要 望 】</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(33番) 国中 憲治 (自由民主党)</p>	<p>(2) 多くの市町村が、障害者や高齢者の避難が可能な社会福祉施設と避難受け入れの協定を結ばれているが、施設が満床で空き部屋が無い場合や、施設自体が被災することによって、被災者の受け入れができないなど、避難所として機能しない場合も想定される。このような状況を考えた時、施設間同士、横の連絡も大事と考えるが、県として、施設間同士の連携方法を把握しているのか。</p> <p>4 大淀高校と吉野高校の再編について</p> <p>(1) 平成29年度より吉野高校は一括募集、大淀高校はコミュニティスクール化と、それぞれの学校経営が出発した矢先に統合が決まり、両校が1年間育んできた教育・地域交流はなんだったのか、教育現場と県教委の思いが一致していないのでは、と危惧している。この際、今までの学校経営の方針と今後の方針を総括・検証すべきと思うがどうか。</p> <p>(2) 学校の評価は入口、即ち入学よりも出口、卒業して次の進路、大学進学、就職がスムーズに選択できるかどうかだと思っている。今回の看護・医療コースは将来的に卒業生に展望があるのか。</p> <p>(3) 適正化実施計画では、総合学科（建築・森林管理等）とあるが、入学から卒業まで大淀校舎で学ぶのか、それとも、二年生時に吉野校舎に移行するのか、また、その場合は卒業証書の校名はどうなるのか。</p> <p>(4) （仮称）奈良県フォレスト・アカデミーと連携・接続とあるが、総合学科（建築・森林管理等）の教育内容について、特に職との連携はどのようにしていくのか。</p>	<p>教育長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(33番) 国中 憲治 (自由民主党)</p>	<p>(5) 情報科（小・中・高を通じた情報教育）とあるが、具体的な教育内容はどのようなものか、また、小・中・高を通じた情報教育における小・中学生との関係、小・中学校との関係はどのような形になるのか。</p> <p>更に、情報教育を教える専門知識を持っている教員を確保できているのか。</p> <p>(6) 吉野校舎に伝統建築専攻科を設置するとあるが、何年制なのか、また入学する対象者はどのようになるのか。</p> <p>(7) 県はじめ県下自治体では建築・土木技術職員が不足しており、教育行政もこの現状を把握すべきと思うがどうか。</p> <p>特に、自然災害が多発している現在、県及び教育行政が建築・土木技術職員を養成するのが責務だと思う。この現状を考慮して、教育行政がしなければならないのは、吉野校舎に土木科を存続させることと思うがどうか。</p> <p>加えて、2級土木施工管理技士を養成するために建築専攻科と同時に土木専攻科を設置すべきと思うがどうか。</p> <p>(8) 吉野校舎に土木科を存続させると同時に、ドローン操作技術修得科目を導入し、土木技術者養成をすべきと思うがどうか。</p> <p>(9) 県教委並びに教育長が目標としている特色ある高等学校のあり方と、現代社会が求めている人材育成について、教育長の思いを伺いたい。</p>	

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(28番) 乾 浩之 (自民党奈良) 【一括質問】</p>	<p>1 豪雨等による水害対策について</p> <p>(1) 水害時の「逃げ遅れゼロ」対策について、奈良県としてどのように取り組んでいくのか伺いたい。</p> <p>(2) 「奈良県平成緊急内水対策事業」について、現在の取組状況と、今後どのように進めていこうとしているのか伺いたい。</p> <p>(3) 除草や浚渫などの河川の維持管理ができていないと、「流す対策」が十分に機能しないと考えるが、河川の維持管理にどのように取り組んでいるのか伺いたい。</p> <p>(4) 小規模河川整備について</p> <p>2 文化財を活用した観光振興策について</p> <p>県内にたくさんある史跡等の文化財を活用した観光振興策を、市町村と連携して積極的に進めるべきと考えるが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>3 中小企業・小規模事業者の振興策について</p> <p>地域の中小企業・小規模事業者を取り巻く課題が深刻さを増しつつある中、市町村や商工団体と連携した支援や、チャレンジする企業が活躍できる環境整備が重要と考えるが、県はどのように進めているのか伺いたい。</p> <p>4 第二浄化センターの汚泥の有効利用について</p> <p>産業廃棄物として処理されている第二浄化センターの汚泥について、資源としての有効利用を推進すべきと考えるが、どのように取り組んでいるのか伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>県土マネジメント 部 長</p> <p>【 要 望 】</p> <p>知 事</p> <p>産業・雇用振興 部 長</p> <p>県土マネジメント 部 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(8 番) 佐藤 光紀 (日本維新の 会) 【一括質問】</p>	<p>1 自転車保険義務化について</p> <p>県は、奈良県自転車利用促進計画（平成22年12月制定）に基づき利用環境の充実を図るとともに、観光振興の一策として京都・奈良・和歌山を縦断するサイクリングロードと支線ルートを整えてきた。加えて健康志向による自転車の利用増加と電動アシスト自転車の普及による利用増加により、県内の自転車関連事情も様変わりしてきている。</p> <p>関西圏における自転車保険義務化の動きとしては京都・大阪・兵庫・滋賀と既に条例が制定されており、奈良県と和歌山県だけが義務化していない状況である。</p> <p>今後、県として義務化をするべきと考えるがどうか。</p> <p>2 県の熱中症対策と避難所運営における課題について</p> <p>(1) 本年度の暑さは災害ともいえる酷暑であったが、熱中症対策として最も重要かつ有効な指標であるWBGT（暑さ指数）を県としては有効に活用できていたのか、また、今後県としてWBGTをどう扱い、どう活用するのか、伺いたい。</p> <p>(2) 6月から9月にかけて、本県も地震・豪雨・台風と立て続けに災害に見舞われたが、夏場（酷暑）の避難所を想定した場合、改めて空調は必要であると考え。今後、県としてどのような対策を考え、対処するのか、伺いたい。</p> <p>3 学校施設（建物・設備）について</p> <p>(1) 県下公立学校の各教室への空調設備導入状況について伺いたい。また、体育館にも空調設備の導入を推進していくべきと考えるが、どうか。</p> <p>加えて、避難所として利用される体育館の耐震状況について伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>医療政策局長</p> <p>危機管理監</p> <p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(8 番) 佐藤 光紀 (日本維新の 会)</p>	<p>(2) 県立高校の建物や設備について老朽化が進んでいる状況であるが、経常（小規模）修繕と計画（大規模）修繕が行われてこそ機能維持が可能となる。県教育委員会では、どのような水準を設定し、修繕計画を区分しているのか、伺いたい。</p>	